

### 森田恒友展 自然と共に生きて行かう

とき・2/1(土)～3/22(日)\*会期中に一部展示替えがあります。前期：2/1(土)～3/1(日)／後期：3/3(火)～3/22(日)。

ところ・2階展示室

内容・埼玉県熊谷市出身の画家・森田恒友(1881-1933)は、はじめ洋画を学び、ヨーロッパに留学して、セザンヌに強く影響を受けた作品を手がけました。しかし帰国後、日本各地を旅するうちに、水墨表現が日本の風景に適していることを見出し、後半生には身近な自然をとらえた清澄な日本画を発表するようになりました。さまざまな技法や表現を試みながら、一貫して描く対象を真摯に見つめた恒友の軌跡を、洋画と日本画の主要作品を中心に、豊富な資料も交えてたどります。

観覧料・一般 1100円(880円)、大高生 880円(710円)

※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》

○レクチャー「恒友をめぐる人と自然一会津を中心に」

とき・2/23(日)15:00～16:00

講師・増淵鏡子(福島県立美術館学芸員)

ところ・2階講堂/定員・70名(当日先着順)/費用・無料

○ミュージアム・コンサート

とき・2/16(日)14:30～15:30(開場は14:00)

出演者・佐藤友紀(トランペット)ほか

内容・東京交響楽団首席トランペット奏者・佐藤友紀が仲間たちとともに、展覧会にちなんだ曲やトランペットのオリジナル曲など多彩なプログラムで、お届けいたします。

ところ・地階センターホール/定員・60席(当日先着順)

費用・無料

○担当学芸員によるギャラリー・トーク

とき・2/29(土)、3/14(土)各日とも15:00から30分程度

ところ・2階展示室/費用・企画展観覧料が必要です。



《緑野》1926-27年頃  
埼玉県立近代美術館蔵

2019年度 第4期

とき・2/8(土)～4/19(日)※会期中一部作品の展示替えがあります。前期：2月8日(土)～3月8日(日)、後期：3月10日(火)～4月19日(日)

ところ・1階展示室

観覧料・第3期の観覧料と同一です。

※2月8日(土)、2月9日(日)を除く会期中の毎日14時から、美術館サポーター(ガイド・ボランティア)が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

◇セレクション：シャガールとか佐伯祐三とか

シャガールの《二つの花束》のほか、西洋、日本の近代洋画や版画をご紹介します。

◇サポーターズ・チョイス！

MOMAS コレクションでガイド・ボランティアとして活躍する美術館サポーターが、コレクションからお気に入りの作品をチョイスし、学芸員と共に展示を作ります。

◇春陽会一旗揚げのころ

1922(大正11)年に結成された洋画団体、春陽会の草創期について、創設メンバーである森田恒友や岸田劉生らの作品を通してご紹介します。



岸田劉生《路傍初夏》1920年  
埼玉県立近代美術館蔵

《関連イベント》

○サンデー・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。

費用・MOMAS コレクション観覧料が必要です。

とき・2/9(日)15:00～15:30

担当学芸員・石井富久

作品・日和崎尊夫《海球》1980年

### 一般展示室(地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。

※展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆1/28(火)～2/2(日)

文教大学教育学部学校教育課程美術専修令和元年度卒業制作展(日本画、水彩、油彩、版画、彫刻、工芸ほか)……………一般展示室1  
第8回樫会創作人形展(人形)……………一般展示室4

◆2/5(水)～2/9(日)

令和元年度埼玉県美術系高等学校作品展・卒業制作展(日本画、水彩ほか)……………一般展示室1～4

◆2/11(火)～2/16(日)

野美展(日本画、水彩、油彩、ドローイング、彫刻、工芸)……………一般展示室2  
全日本写真連盟ネチャーフォト支部写真展(写真)……………一般展示室4

◆2/15(土)～2/16(日)

令和元年度第60回埼玉県小・中学校等児童生徒美術展第12回中央展覧会(水彩、版画、彫刻ほか)……………一般展示室1

◆2/18(火)～2/23(日)

埼玉大学教育学部卒業制作展/修了展/有志展覧会彩展(日本画、水彩ほか)……………一般展示室1  
女子美術大学同窓会埼玉支部「第13回彩の会」(日本画、水彩、油彩ほか)……………一般展示室2～4

◆2/25(火)～3/8(日)

ヨシズミトシオ展(油彩、ドローイング、版画、水墨画)……………一般展示室4

◆3/3(火)～3/8(日)

第11回ラルゲット展(日本画、水彩、ドローイング、染色)……………一般展示室2  
旅(日本画、水彩、油彩)……………一般展示室3

◆3/10(火)～3/15(日)

第45回埼玉書道30人展(書)……………一般展示室1  
第10回埼玉植物画の会作品展(水彩)……………一般展示室2  
第24回さきたま書展(書)……………一般展示室3  
斎藤光一WORKS展2020(水彩、写真)……………一般展示室4

◆3/17(火)～3/22(日)

第7回華耀会展(日本画)……………一般展示室2  
第8回彩友会ボタニカルアート展(水彩)……………一般展示室4

◆3/18(水)～3/22(日)

SMF宝船展2020@MOMAS(現代アートほか)……………一般展示室1

◆3/19(木)～3/22(日)

洋光教室展(書)……………一般展示室3

◆3/24(火)～3/29(日)

第25回記念彩の国さいたまきりえ展(きりえ)……………一般展示室2  
彩の国写真倶楽部・写真展(写真)……………一般展示室3  
恒星個展(ありあるクリエイションズ藝術企画)(日本画、水彩、油彩ほか)……………一般展示室4

◆3/31(火)～4/5(日)

春のCAF.N2020-さいたま国際芸術祭 美術と街巡り事業(日本画、水彩ほか)……………一般展示室1  
43回埼玉現展(水彩、油彩、写真)……………一般展示室3・4

◆3/31(火)～4/12(日)

水彩ROMAN展(水彩)……………一般展示室2

### 第2回「カラダで・みる、うごいて・みる！」

受賞作品をロビーにて上映中！

昨年に引き続き、第2回「カラダで・みる、うごいて、みる！」の公募展を開催しました。埼玉県内の小・中学生、高校生、特別支援学校生を対象に、当館収蔵作品から受け取ったイメージを身体の動きで表現した動画を募集したところ、23グループの応募がありました。審査の結果、以下のグループが各賞に選ばれました。受賞された皆さん、おめでとうございます！

※学校名、グループ名の順に記載しています。

【総合グランプリ】川口市立上青木中学校 Satans♡【総合準グランプリ】川口市立上青木中学校 いくら【中学校グランプリ】上尾市立大石中学校 Art 7 Dash【中学校準グランプリ】伊奈町立南中学校 NATTO's【中学校準グランプリ】上尾市立太平中学校 いちごミルク【特別支援学校(級)グランプリ】埼玉県立特別支援学校さいたま桜高等学園 ミステリーモンスター

第2回となり、学校ごとに多様な表現が見られました。課題作品の鑑賞において、グループそれぞれの見方があったようです。同じ課題作品でも、明るい、暗い、幸せ、悲しいなど様々な感じ方となり、動画作品からは、子供たちの受け取ったイメージが伝わってきました。作品を鑑賞した時、言葉で多くのことを語ることもできますが、自分の身体を使って気持ちを表現することで、作品が表す詳細な雰囲気までも感じ取り、作品の内側から鑑賞するような体験ができるのが、この公募展の魅力のひとつだと思います。応募いただいた学校のグループでは、クロード・モネ《ジヴェルニーの積みわら、夕日》を鑑賞した時に、「どんぐりみたい」「誰かが住んでいるのでは?」「海の近くかもしれない」など、まず見えたものから話していったそうです。そこから、「2つだとさみしそうだね…」「いや、明るい色もあるから希望もある!」など、作品に描かれている積みわらから気持ちを感じ取り、身体で表現をしていったそうです。担当の先生からは、「身体を動かすということだけではなく、自分たちで場所選びから始めていました。」「水の音は?風の音は?と、音について試行錯誤していた姿が見られました。」など、身体での表現以外に様々な観点で鑑賞していた様子も伝えていただきました。

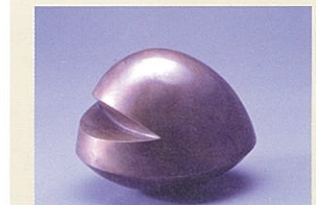
作品には歴史的な背景や、意図もありますが、作品と向き合った時の感じ方は人それぞれです。知識や情報だけではなく、最初に作品をみた印象はどんな感じかということが作品を楽しむことにつながるのではと思います。ぜひ、「感じたこと」をそのまま表現してみませんか?公募展「カラダで・みる、うごいて・みる!」は来年度も開催予定です。ぜひ、ご応募ください。(A.I.)



クロード・モネ《ジヴェルニーの積みわら、夕日》  
1988-89年 埼玉県立近代美術館蔵



《ジヴェルニーの積みわら、夕日》を表現する  
川口市立上青木中学校 いくら



ジャン・アルプ《バラを食べるもの》  
1963年 埼玉県立近代美術館蔵



《バラを食べるもの》を表現する埼玉県立特別支援学校  
さいたま桜高等学園 ミステリーモンスター

### 美術館講座 「映像の可能性」第3回

専門的なレクチャーと上映を交えて映像の可能性を議論する美術館講座の第3回です。3月中旬の開催を予定しています。申込方法、プログラム内容については、ホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。

※事前申込制(抽選)・有料

### アート体感ワークショップ MOMASのとびら

とき・各回とも13:30～15:00

費用・『工房』は500円。その他無料。

申込方法・館内配布の申込用紙により直接又はFAXでお申し込みいただくか、ホームページからお申し込みください。

3月分のお申込みを2/1(土)から受け付けます。

3/7(土)みる+つくる(企画展物語)[小・中学生]

3/14(土)み〜っけ! [未就学児+保護者]

3/21(土)工房[小学生~大人]

4月分のお申込みを3/1(日)から受け付けます。

内容については、館内で配布する申込用紙またはホームページでご確認ください。

### MOMAS コレクション(収蔵品展)

2019年度 第3期

とき・10/26(土)～2/2(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般 200円(120円)、大高生 100円(60円)

※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

※会期中の毎日14時から、美術館サポーター(ガイド・ボランティア)が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。